

学生たちが挑んだ SDGs プロダクト開発

〜 環境や福祉について実践的に学ぶ意義 〜

2022年 **8月1日(月)** 14:00
16:00

対象 学校・教育関係者 参加費 無料

形式 オンライン (ZOOM ウェビナー)



講師 **横山 恵子** 関西大学 商学部 教授

profile

一般社団法人そばくりラボ代表理事兼事務局長。北海道大学大学院経済学研究科修了。博士(経営学)。企業の社会性、企業とNPOの協働といった調査現場において既存の枠を打破して新価値創造に果敢に取り組む人々と触れあう中、アントレプレナーシップという生き様に魅せられるようになり、大学で教える科目も「ベンチャー論」に切り着く。ソーシャル・アントレプレナーシップやエシカルと協働という考え方を学生に広めるべく、産学連携の教育プログラムを多数展開してきている。編著書に『企業の社会戦略とNPO』(2003年)、『エシカル・アントレプレナーシップ』(2018年)、『日本のコレクティブ・イノベーション』(2022年)等がある。また組織学会賞「高宮賞」論文部門(2002年6月)、日本NPO学会研究奨励賞(2004年3月)、日本ベンチャー学会第7回レジェーリー賞(2014年11月)、環境経営学会実践貢献賞(2018年5月)などの受賞歴がある。

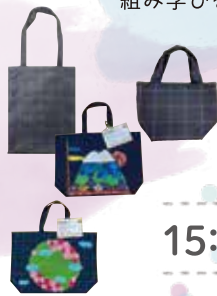
15:20 - 15:40

新たな服育学びツール紹介

「バトンバッグ・ローカルアクション」

環境と福祉の視点を盛り込み製作したバッグを、学校でアップサイクルして海外へ送って活用してもらっていた「バトンバッグ(グローバルアクション)」。このバトンバッグの新たな展開「ローカルアクション」が始まります。

これまでの「環境」「福祉」の視点はもちろん、学校がより主体的に地域とつながりながら、自分達の裁量でバトンバッグを活用していくことができる取り組みです。



こんな場面に役立ちます

●SDGsの学びの中で
学校におけるSDGsの取り組みについて考える際に

●家庭科の中で
身近な「衣」を通した取り組みとして

●生徒たちの視野を広げる
日常生活の中では見えない環境や福祉について考えるきっかけに

14:00 - 15:20

セミナー

「学生達が挑んだSDGsプロダクト開発 〜 環境や福祉について実践的に学ぶ意義 〜」

SDGsについて学ぶ上で重要になってくる「環境」と「福祉」の視点について、実践を通して学ぶ意義についてお話いただきます。横山ゼミの「衣の魔女プロジェクト」では、服になれなかった未活用生地をアップサイクルするパートナーシップ(大学×企業×福祉事業所)で社会課題の解決を目指しています。このプロジェクトに参加した学生達の声も交えながら、主体的に取り組み学びを深める上で大切なことを教えていただきます。



15:40 - 16:00

質疑応答

Check

※セミナー内容は後日、**服育net研究所会員限定**で録画動画配信(期間限定)予定です。配信視聴ご希望の方は、事前に服育website(下記QRコード)の服育net研究所会員申込みフォームより、会員申込みをお願いします。

ZOOM ウェビナーにて開催

- 視聴にはWeb接続できるパソコン、タブレット、スマートフォンなどが必要です。
- 参加費は無料ですが、視聴にあたっての通信費用などはご参加者様のご負担となります。
- セミナー視聴前にZOOMアプリをインストールしておく、当日スムーズに入室できます。(パソコンの場合はwebブラウザ経由でも参加できます)

WEB申込み

定期セミナー申込フォームよりお申し込みをお願いします。

服育 <https://www.fukuiku.net/>

